



今月の主な内容

- ◆ 更別村二十歳を祝う会開催 P 2 ~ 3
- ◆ 更別村コミュニティ・スクール5年目に P 4 ~ 5
- ◆ 確定申告はネット活用で P 6 ~ 7
- ◆ スーパービレッジ構想 P 10
- ◆ 村のわだい・村からのお知らせ P 14 ~ 19

表紙の風景

1月7日、二十歳を祝う会が開催されました。新型コロナウイルスが5類へ移行し4年ぶりに制限がない中での開催となった式典。集まった24名は、友人との久しぶりの再会を喜び、笑顔が溢れていました。

令和6年

更別村二十歳を祝う会開催

躍してほしい」と激励しました。

なお、今年には北海道日本ハムファイターズ「北海道応援大使プロジェクト」の対象が十勝エリアのため、伊藤大海選手と清宮幸太郎選手からお祝いメッセージが届きました。

1月7日(日)、『令和6年更別村二十歳を祝う会』が開催され、会場の社会福祉センターには振り袖やスーツに身を包んだ参加者24名が集まりました。式は、集合写真を撮影した後、実行委員の道見康平さんと有金菜々美さんの司会で進行。西山村長は「二十歳の皆さんおめでとうございます。立派な姿、嬉しく思います。見守ってくれたご家族や周りの方に感謝の気持ちを伝え、そして自分らしく活躍してほしい」と激励しました。

続いて、水口智文さんと中島華那さんが「村民憲章」を、本多未来さんと濱口日菜子さんが「誓いの言葉」を力強く読み上げ、小寺沙奈さんが細川教育長より記念品を受け取りました。その後、織田忠司村議会議長と若園則明JAさらべつ代表理事組合長がお祝いの言葉を贈り、最後に、参加者を代表して日光菜緒さんが「本日はありがとうございます。激励の言葉をいただきました二十歳としての決意を新たにしました。令和6年1月1日に能登半島地震が発生し先の見えない年にもえませんが、前を向き、誰もが心置きなく過ごせるよう頑張りますので私たちのつくる未来を見守ってください」と抱負を述べました。



細川教育長から代表の小寺さんへ記念品が手渡されました。



久しぶりの再会に会場は笑顔いっぱい。



二十歳を祝う会実行委員
後列左から
水口さん、本多さん、濱口さん、山内さん、中島さん
前列左から
道見さん、有金さん、日光さん、小寺さん



緊張しながらの村民憲章朗読と誓いの言葉。



感染症が依然流行しているため、今年は4名の実行委員でコムニの里さらべつを訪問。舞台上立ち将来の目標を発表する姿に、入所者やスタッフの皆さんからは祝福の言葉や拍手がありました。



たな ゆうき
棚 悠樹 さん



たかぎ りの
高木 璃音 さん



せたがわ ゆい
瀬田川 結衣 さん



いわき あつし
井脇 淳士 さん



いじま ひろや
飯島 弥也 さん



ありがね なみ
有金 菜々美 さん



にっこう なお
日光 菜緒 さん



なかじま はな
中島 華那 さん



とりやうち さくら
鳥谷内 櫻 さん



どうみ こうへい
道見 康平 さん



つじ しょうたろう
辻 尚太郎 さん



こでら さな
小寺 沙奈 さん



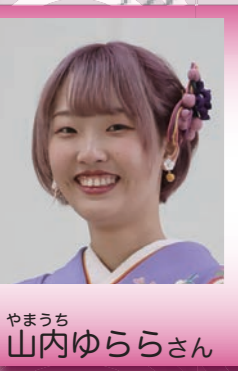
こしや かなる
越谷 航 さん



くさぶか たいち
草深 太一 さん



きつい かのん
橘井 花音 さん



やまうち
山内 ゆらら さん



もりや れいか
森谷 玲香 さん



みずぐち ともふみ
水口 智文 さん



ほんだ みく
本多 未来 さん



はまぐち ひなこ
濱口 日菜子 さん



せきしょう たいと
赤城 泰斗 さん



しみず こうき
清水 康希 さん



ししど みお
宍戸 美桜 さん



こもと まえ
小本 真瑛 さん

更別村コミュニティ・スクール（学校運営協議会とみんなの学校応援団の活動）は、平成31年度から始動し5年目となりました。学校と地域住民などが力を合わせて子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を推進しています。今月号ではこれまでの取組をご紹介します。みんなの学校応援団としてご協力いただける方も随時募集していますので、この機会にぜひご登録を！

◆「みんなの学校応援団」

更別村コミュニティ・スクールでは、これまでご協力いただいていた地域の方に改めて「みんなの学校応援団」として登録いただき、日々の学習や行事で、また、子どもたちが地域に出向いて学習する場面でもご協力いただいています。学校独自で行われてきた活動を、もっと地域全体のものとして大切に、組織的、継続的に推進する取組が『みんなの学校応援団』です。

個人や団体、企業の方にご協力いただいています。『こんなことだったら学校に協力できる』という内容をみんなの学校応援団に登録いただくことで、幅広い地域住民の方々が学校の教育活動に参画しています。これまでの活動の一部をご紹介します！



おひさまの会 絵本の読み聞かせ 更小・上更小	JAさらべつ青年部 かぼちゃの播種、収穫、調理 更小	さらべつほーぶ 自己肯定感やライフスキルの育成 更小・上更小・中央中
茶道サークル 茶道体験 更小・上更小	更別農業高等学校 花壇づくり・酪農体験・パンづくり 更小・上更小・中央中	村内事業所（令和5年度 28 か所） 職業体験 中央中
		みんなの学校応援団登録数 （令和5年 12月現在） *企業・事業所・団体 46 *個人 25 専門的な知識により指導できること以外にも、授業のサポートなどちょっとしたお手伝いや見守りが必要な場面がたくさんあります。『みんなの学校応援団』に登録しご協力いただける方を随時募集しています。お気軽にご連絡ください。
役場総務課ほか 1日防災学校 更小・上更小・中央中	個人・未広学級 家庭科サポート 更小	

◆コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地方教育行政法第47条の6）に基づいた仕組みです。

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置している学校を指します。

◆学校運営協議会とは

学校運営協議会とは、学校運営に関して更別村教育委員会および村内各学校の校長の権限と責任のもと、保護者および地域住民の皆さんと信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組む組織で、各小中学校に設置されています。更別村の学校運営協議会の委員には、保護者の方や地域、各学校の応援団の皆さんに代表としてご協力いただいています。

◆更別村コミュニティ・スクールの取組

更別村コミュニティ・スクールの特徴は、『コミュニティ・スクールコーディネーター』配置と、コーディネーターの声かけにより、活動や意見交換を行う『更別村コミュニティ・スクール委員会』が各学校運営協議会を横断的につなげた形で設置されたこと、地域全体で登録し応援する仕組み『みんなの学校応援団』があること、それらが一体的に進められているところです。また、コミュニティ・スクールが始まる前から、すでに各学校で地域や保護者の方々のご協力を得ながら教育活動が進められていたことや、地域と学校の協力体制の土台が作られているところも本村の特徴です。

地域で土台が作られていることから、次のような『更別村コミュニティ・スクール委員会』や『コーディネーター』の活動が活発に取り組むことができています。

◆更別村コミュニティ・スクール委員会の歩み

令和2年度	*更別村コミュニティ・スクールアクションプラン策定 地域でどのような子どもを育てるかの共通の目標・ビジョンを持つため、地域の思い、保護者・教職員のアンケート、ほか諸調査をもとに、コミュニティ・スクール委員会では学校運営協議会とともに、また、子どもたちは児童会・生徒会で熟議。
	*どんぐり村子ども会議開催（令和2年度～毎年実施） 村内小中学校児童会生徒会役員が集まり、アクションプランの子ども取組や、いじめ根絶に向け意見交換を実施。また、子ども会議の内容を教育の日村民集会で発表。
令和3年度	*アクションプランの具体的取組を重点化 子どもたちのネットとの付き合い方について、大人も子どもも熟議や協議を実施。
令和4年度	*アクションプランの具体的取組を重点化 研修会や協議を経て、『更別村子どものネット・スマホ・ゲームとの付き合い方ルール宣言』を作成。
令和5年度	*アクションプランの具体的取組を重点化 子どもの自己肯定感を高めるために、研修会などで家庭・地域の役割の重要性を確認。

更別村のコミュニティ・スクールの様子は、毎月「こみ・すく通信」を配布（市街地は回覧）しているほか、村ホームページへも掲載していますので、ぜひご覧ください。

村ホームページはこちら (<https://www.sarabetsu.jp/kurashi/kosodate/gakkyou/communityschool/>)。



●問い合わせ
教育委員会事務局 ☎ 52-3171



令和5年分の受付開始!

確定申告はネット活用で

令和5年分の所得税等の確定申告は、2月16日(金)から3月15日(金)までです。インターネットを利用して自宅で行うことができますので、ぜひ活用ください。

確定申告をする必要がある方

次のいずれかに当てはまる方は確定申告が必要です。

1 給与所得がある方

各種の所得の合計額(譲渡所得や山林所得を含む)から所得控除を差し引いて求めた「課税される所得金額」に所得税の税率を乗じて求めた所得税額から、配当控除額と住宅借入金等特別控除額を差し引いた結果、残額があり、次のいずれかに当てはまる方

●給与の年間収入金額が2千万円を超える方

●給与を1か所から受けていて、給与所得及び退職所得以外の所得の合計額が20万円を超える方

●給与を2か所以上から受けていて、かつ、その給与の全部が源泉徴収の対象となる場合に、**年末調整をされなかった**給与の収入金額と、各種の所得金額(給与所得、退職

所得を除く)との合計額が20万円を超える方

(例) 昨年中に転職し、前職の給与の源泉徴収票を提出し忘れた方

2 公的年金等に係る雑所得のみの方

公的年金等に係る雑所得のみで、公的年金等に係る雑所得の金額から所得控除を差し引いた結果、残額がある方

※ただし、公的年金等の収入金額が400万円以下で、その公的年金等の全部が源泉徴収の対象となっており、公的年金等に係る雑所得**以外**の所得金額が20万円以下である場合には、所得税等の確定申告は必要ありません。

※所得税等の確定申告が必要ない場合であっても、所得税等の還付を受けるためには、確定申告が必要です。

3 退職所得がある方

外国企業から受け取った退職金など、源泉徴収されないものがある方

※ただし、退職金などの支払者に「退職所得の受給に関する申告書」を提出した場合、一般的に退職所得に係る所得税等は源泉徴収により課税が済むこととなりますので、退職所得の申告は不要です。

4 ①②③以外の方

各種の所得金額の合計額(譲渡所得や山林所得を含む)から所得控除を差し引いて求めた課税される所得金額に所得税の税率を乗じて求めた所得税額から、配当控除額を差し引いた結果、残額がある方

※**①④**に当てはまらない方であっても、**上場株式等に係る譲渡損失と配当所得等との損益通算及び繰越控除の特例の適用を受ける方**などは、確定申告が必要です。

国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」はこちらから。マイナンバーカードを読み取り、金額などを入力して送信することで、申告が完了します。



◆申告方法

申告は税務署および役場での受付のほか、インターネットで受付ができます。

*役場で申告される方は、7ページの「申告に必要なもの」をご準備頂き、手続きください。

*税務署で申告される方は、混雑回避のため「入場整理券」が必要になります。当日配布もしくは国税庁LINEアカウントで事前発行となります。マイナンバーカードの暗証番号を確認のうえ、持参してください。

*青色申告決算書と収支内訳書もスマートフォンで作成できます。

▼問い合わせ

● 住民生活課税務係

● 帯広税務署

☎ 24・2161

● 国税庁ホームページ

パソコンやスマートフォンなどから確定申告ができます。

https://www.keisan.nta.go.jp/kyoutu/ky/sm/top

▶ 役場での申告に必要なもの

● 税務署から送付された申告書または「確定申告のお知らせ」と書かれたハガキ

※税務署から送付されている方のみ。

● マイナンバーがわかるもの (マイナンバーカード、通知カードなど)

※毎年、提示が必要です。

● 本人確認書類 (免許証、健康保険証など)

● 収入金額がわかるもの

◆ 給与所得、退職所得、公的年金などの源泉徴収票
※申告会場で確認後返却しますが、税務署から求められたときは提示する必要がありますので、ご自宅でも5年間保管してください。

◆ 不動産収入・事業収入のある方は、収支内訳書(または青色申告決算書)
※事前に作成してからお越しください。

◆ 譲渡収入のある方は、収入金額や必要経費がわかる書類

※土地・建物・株式等・山林の譲渡は税務署へご相談ください。

● 医療費控除などを受ける方は、控除の詳細がわかるもの

※医療費控除、寄附金控除、住宅借入金等特別控除は下記を確認ください。

● 各種保険料などの金額がわかるもの

◆ 国民年金保険料の控除証明書
◆ 国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の領収書
※更別村以外に納付されたもの。

◆ 生命保険や地震保険などの控除証明書

● 所得税が還付される方は、申告者名義の金融機関と口座番号が分かるもの

● 利用者識別番号をお持ちの方は、番号がわかるもの

※無い方には申告会場で取得を推進しています。

▶ 確定申告で税金が戻ってくる場合があります

● 医療費控除

令和5年中に病気やけがなどで医療費を10万円以上(所得金額が200万円未満の場合は所得金額の5%以上)支払った場合、医療費控除を受けることができます。また、医療費控除の特例として令和5年中のスイッチOTC医療品の購入金額が1万2千円を超える場合、セルフメディケーション税制を利用できます。控除を受けるには「医療費控除の明細書(またはセルフメディケーション税制の明細書)」の作成が必要で、明細書は、受診者ごと、医療機関ごとにまとめて記載します。様式は国税庁ホームページでダウンロードできるほか、役場でも配布しています。

◆ 医療費控除額 (最高 200万円)

令和5年中に支払った医療費の額	保険金などで補てんされる金額	10万円または総所得金額の5%のいずれか少ない金額
-----------------	----------------	---------------------------

● 寄附金控除

寄附金控除を受ける場合は、寄附先の団体などから交付された受領証や預り証を添付ください。なお、ふるさと納税先が5自治体以内で各自治体に「ふるさと納税ワンストップ特例の適用に関する申請書」を提出した方は、確定申告が不要です。

● 住宅借入金等特別控除

住宅ローンなどを利用して家を新築・購入・増改築し、令和5年中に居住し、一定の要件を満たしたときは、控除を受けることができます。控除を受ける場合は、契約書などの必要書類を申告会場へご持参ください。最初の年は確定申告をする必要がありますが、給与所得者は2年目から年末調整で控除を受けることができます。

村・道民税の申告が必要な方

令和6年1月1日現在、更別村に居住し、令和5年中に収入のあった方は、村・道民税の申告が必要ですが、次に該当する場合は、申告の必要はありません。

- ① 所得税および復興特別所得税の確定申告がお済みの方
- ② 勤務先で年末調整がお済みの方
- ③ 前年中に公的年金等以外の所得がない方

永年勤続功労者表彰

このたび、更別村商工会やJAさらべつ、更別消防団などで永年勤続功労者表彰が行われました。多年にわたり勤務に精励され、その功績が顕著な方に対し表彰状が贈られました。

更別村商工会

全国商工会 連合会長表彰

- 30年勤続
女ヶ澤美貴子 (有)フナキ薬房
- 市川 郁子 (有)安江新聞店

北海道商工会 連合会長表彰

- 20年勤続
黒沢 敏江 (有)片岡商店
- 山内 昌子 (有)片岡商店
- 観野 真理 (株)ティー・ワイ
- 山内いち子 (株)ティー・ワイ
- 平本奈三子 (株)山内組

十勝管内商工会 連合会長表彰

- 15年勤続
河合 直美 (有)アグリサポートさらべつ
- 佐藤 裕 (有)一般社団法人オアシス
- 小寺真奈美 (有)片岡商店
- 肥田 祐輔 (有)神野でんぶん工場(株)
- 木村 勝好 (株)山内組
- 増田 均 (株)山内組



更別村商工会 会長表彰

- 10年勤続
蜂谷 芳信 (有)アグリサポートさらべつ
- 松橋 良子 (有)一般社団法人オアシス
- 高橋 諒 (株)ヤマジョウ

●5年勤続

- 森田 一吉 (有)アグリサポートさらべつ
- 吉根佑香利 (有)一般社団法人オアシス
- 小山 勝寿 (有)加藤自動車
- 花田美起男 (株)更別企業
- 岡本 晃全 (株)ティー・ワイ
- 東山 初則 (株)山内組
- 平野 弥 (株)山内組
- 金子 美香 (株)ヤマジョウ
- 鈴木 舞 (株)ヤマジョウ

JAさらべつ

永年勤続職員表彰

- 40年表彰
福原美由起
- 30年表彰
相馬謙一郎
- 栗飯原正憲
- 小河畑 忍
- 20年表彰
吉田 匠
- 角玄 真也
- 10年表彰
岩城 健太



永年勤続職員表彰式

更別消防団

北海道消防表彰

- 功績章 (20年勤続)
阪本 隆俊・村上 幸一
- 若園 裕幸
- 10年勤続
山田 和範・高橋 直人

北海道消防協会表彰

- 功績章
木山 卓也
- 20年勤続
阪本 隆俊・村上 幸一
- 若園 裕幸
- 10年勤続
山田 和範・高橋 直人

北海道消防協会 十勝地方支部表彰

- 功績章
高橋 哲也
- 5年勤続
井原 靖博

更別消防団表彰

- 勤功章
日光 辰仁
- 松前 航大
- 感謝状
佐藤 凱義



更別村役場

- 25年勤続
井内 浩路
- 中村 清
- 佐藤ちはる



お知らせ 転出届はオンライン申請が可能です！

～15歳以上の方の利用が可能～

転入届は転入先市区町村窓口
での手続きが必要です。忘れ
ずに、手続きしてください。

◆注意事項

- *15歳未満の方のマイナンバーカードでは、オンライン申請ができません。役場窓口で手続きください。
- *電子証明が失効している場合はオンライン申請ができません。電子証明書を再発行される場合は、役場窓口での手続きが必要です。



マイナポータルへの
アクセスはこちら
(ご利用には別途マイナポータル
アプリのダウンロードが必要です)



●問い合わせ
住民生活課戸籍窓口係 ☎52-2112

～子どもからお年寄りまで
笑顔と笑い声があふれ、
一人ひとりが輝く村～

letter from Takeshi

村長室 だより

NO.87



多くの意見・要望を村政に！
子どもからお年寄りまで笑顔と笑い声
があふれ、一人ひとりが輝く村！
今こそ危機感を持って
自然災害への備えを！

令和6年1月1日、震度7マグニチュード7.6の巨大地震と津波が石川県能登半島を襲いました。石川県のみならず、近隣の県や市町村を含め広範囲に甚大な被害をもたらした多数の方が被害に遭われました。地震発生時から今日まで懸命な救助活動や捜索活動が行われ、併せて損壊した電気・水道・道路などのインフラ復旧が全力で進められています。改めて、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りし、被災された皆様にご心からの御見舞いを申し上げます。一日も早い復興を祈っています。

さて、自然災害はいつ襲ってくるかわかりません。日頃から災害発生に備えた危機管理をしっかりと準備しなければなりません。
本村においても2016年の台風被害、2018年の胆振東部地震によるフラックアウト、2021年の暴風被害など、これまで多くの自然災害等に見舞われました。

その経験や教訓を生かし、防災倉庫の新設と防災用品の備蓄補充、避難所の非常用発電設備の設置、消防団の演習、関係機関と連携した避難所開設や防災訓練、上更別市街地での地域防災訓練、更別農業高校での自衛隊と連携した炊き出し訓練や小中学校での防災1日学校、人材育成事業での防災意識の向上と啓発を旨とした講演会開催等の実施などを行い、現在、更別村地域防災計画の改訂作業と水防法改正に伴うハザードマップの作成を進めています。
また、2016年の台風直撃後に発生した長期にわたる大規模な「滞水・冠水被害」を克服するため上更別地域における国営かん排事業や度々河川氾濫を繰り返してきたサラベツ川の河川改修、更別橋の架け替え工事が本年度より着手されています。

なお、更別スーパービレッジ構想では、救急搬送時の本人情報、特定健診、服薬データ、ヘルスケアデータを連携させた迅速・適切な救急対応の実施に向けた取組の開始やデジタルを活用した全村3Dマップ(立体化)による道路・橋りょう・河川・家屋の被害状況の把握による避難経路設定、避難所等の設置状況や避難人数の正確で迅速な把握に努め最も懸念される通信網の遮断対策として市街地共助WiFi設置と高速通信網である5G基地局(7カ所)の運用、更には今年度より災害時における更別市街地の消防・医療・役場での通信遮断を解消するスターリンク衛星による通信確保など最先端技術を活用した防災体制を構築しています。
最悪な事態を想定した危機管理のなか、村民の命と暮らしを守るため、今こそ非常時の備えを村民・行政が一丸となって進めていかねばなりません。

さらべつベーシックインフラサービスって？

スーパービレッジ構想の取組として開始しているサービスに新たなサービスを加え、『さらべつベーシックインフラサービス (通称: SBIS シビス)』という形で取り組むことになりました。今後、医療などのサービスも始まり、マイナンバーカードと連携することで、国民健康保険診療所の待ち時間の短縮や行政手続きの簡略化を推進することが可能となるなど、更別村のデジタル化の取組が進みます。

なお、これに伴い、これまで無料でご利用が可能となっていた『ひやくワクサービス』について、定額 (月額) サービスおよび選べるサービスへと移行します。

取組に関する説明会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。



さらべつベーシックインフラサービス

デジタル公民館 (行政 DX サービスなど) 無 料

- ◆施設予約や Wi-Fi サービス
 - ・スマホ教室
 - ・スマホ貸し出し
 - ・市街地フリー Wi-Fi
 - ・オンライン予約
 - ・さくさく行政届出 など
 - ◆マイナンバーカード連携サービス
 - ・書かない窓口
 - ・コンビニ交付 など
- ※サービス名は変更の可能性があります。



Sarabetsu
Basic
Infrastructure
Service

ひやくワクサービス (健康・趣味系サービス) 有 料

- 定額 1,980 円
- ◆月額サービス
 - ・スマホ無制限通話機能
 - ・利用券サービス など

- 追加で選択
- ◆選べるサービス
(ひやくワク会員選択サービス)
 - ・健康運動教室
 - ・カラオケ など

●利用には同意が必要です

「デジタル公民館」など『さらべつベーシックインフラサービス』のサービス利用には同意 (手続き) が必要で、また、すでにひやくワク会員の方も、再同意 (手続き) が必要となります。

●同意・再同意の手続きの方法

- 新たにサービスを利用する方
 - 『さらべつベーシックインフラサービス』へお申し込みください。
- すでにひやくワクサービスに登録済の方でメールのご登録がある方
 - メールでの手続きとなります。
- すでにひやくワクサービスに登録済の方でメールのご登録のない方
 - ご自宅へ文書を送付しますので、提出ください。

【同意・再同意など手続きに関する問い合わせ】
Social Knowledge Bank合同会社

(ソーシャル ナレッジ バンク) ☎ 65-0366 ☎ 070-8916-6420

●なぜ再同意が必要？

運営主体が更別村スーパービレッジ 推進協議会から Social Knowledge Bank合同会社 (ソーシャル ナレッジ バンク) へ変更されているため、改めて利用の同意が必要となります。

更別村のデジタル化に関する 村民説明会

スーパービレッジ 構想の取組や、運営主体変更に伴う同意書の手続き、新たなサービスやこれからの取組についての説明会です。会場はいずれも老人保健福祉センター集会所で、3回とも同じ内容です。お申し込みは必要ありませんので、お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

- ◆2月21日 (水)
19:00 ~
- ◆2月24日 (土)
13:30 ~・19:00 ~

■自己負担限度額表

【1年分の自己負担額の計算期間：8月1日～翌年7月31日】

負担割合	区分	自己負担額の合計の基準額	
3割	現役並み所得者	課税所得 690万円以上	212万円
		課税所得 380万円以上	141万円
		課税所得 145万円以上	67万円
2割	一定以上所得者	56万円	
1割	一般	31万円	
	住民税 非課税 世帯	区分II(※1)	19万円
		区分I(※2)	19万円

※1 世帯全員が住民税非課税で区分Iに該当しない方

※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円 (公的年金収入のみの場合その受給額が80万円以下、給与所得がある場合さらに10万円控除)、または老齢福祉年金を受給している方

●問い合わせ

保健福祉課国保介護係 ☎ 53-3000
北海道後期高齢者医療広域連合 ☎ (011)290-5601

後期高齢者医療制度のお知らせ

高額介護合算療養費

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。同じ世帯の被保険者が1年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が左表の基準額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度と介護保険から支給されます。

なお、該当となる方には3月に申請書を送付しますので、保健福祉課へご提出ください。

※後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合対象となりません。

※支給額が500円以下の場合には支給されません。

コミナス通信 vol.20

コミュニティナースが住民のみなさんと関係づくりを進めています。

2022年から村に移住し、村が掲げる“100歳までワクワク働けてしまう奇跡の農村”を作るべく、高齢者の方々の“楽しい”や“嬉しい”の瞬間を一緒に過ごしています!コミュニティナース(以下「コミナス」という。)は医療資格に関わらず、暮らしの中で誰もが誰かの元気を応援できるつながりを“つくります”。

ワークショップのお手伝い

診療所の山田康介所長の後輩で、北海道家庭医療学センター専攻医(帯広協会病院勤務)の前田和俊医師による「アートと医療のワークショップ」が、1月19日にカフェゆーゆの時間に合わせて開催されました。ワークショップでは沖縄出身の前田医師による三線と歌が、村内のオカリナサークルルピナスの皆さんとコミナス稲本ゆみのチェロ演奏とともに披露されました。また、沖縄県の伝統工芸品「琉球紅型」鑑賞をしながらのお茶会では、沖縄の伝統菓子ちんすこうとさんぴん茶が提供され、参加者の皆さんとともに沖縄の文化を存分に感じることで時間となりました。

●問い合わせ
企画政策課スーパービレッジ推進室 ☎ 52-5252



本年もよろしくお祈りします

2023年1月に新体制となってから丸一年が経ちました。昨年は保健福祉課からの業務委託事業を通して、1年目にはお会いすることのできなかった皆さんと関わることができました。引き続き、地域の行事や集まり、会議の参加や個別訪問を通して地域の皆さんとともに「心と体の健康づくり」に取り組んで参ります。また、今年は地域の皆さんとのつながりを一層深めていくために「更別村コミュニティナース」の募集を開始いたしました。詳細については、追ってお知らせいたします。本年もよろしくお祈りいたします。

コミュニティナース更別事業所 ☎ 070-7568-2493

事業承継の支援機関の事業を活用

村では、経済産業省北海道経済産業局の委託事業『北海道事業承継・引継ぎ支援センター事業』の活用を行なっています。このたび、村内で食肉加工販売を営む真鍋精肉店が、令和6年3月末で事業を取りやめることとなり、現在、北海道事業承継・引継ぎ支援センターの事業を活用し事業承継に向けて取り組んでいます。

本事業は標記センターが中心となり、全国から承継・引継ぎをサポートするものです。

ご興味のある方は、3月29日(金)までに更別村商工会または産業課商工労働観光係までお問い合わせください。

「譲りたい人」と「譲り受けたい人」をつなぐ



このような事業承継のお悩みがありましたらご相談を!

- *後継者がいないが後継者の探し方がわからない。
- *廃業する前に第三者承継が可能か相談したい。
- *事業承継って何をしたらよいかわからない。
- *小さな会社や個人事業主でも相談できるのかわからない。

- 問い合わせ 更別村商工会
☎ 52-2010
産業課商工労働観光係
☎ 52-2211

おうちで予防ごはん ～今月のレシピ～

れんこんとささみの甘酢炒め

◆材料(4人分)

れんこん 100g、ささみ4本、塩こしょう少々
片栗粉大さじ2、油大さじ1、醤油大さじ2
砂糖大さじ2、みりん大さじ2、酢大さじ2
白いりごま小さじ1

1人分カロリー
: 161kcal
塩分
: 1.4g
食物繊維
: 0.5g



生のれんこんは食感が良く食べ応えがあるので、旬の時期に取り入れてほしい食材です。秋から冬にかけて特に甘みが強くなり、より美味しく味わうことができます。

次号は「モヤシ」です

<つくり方>

- ①れんこんは皮をむいて乱切りにし、酢水に5～10分さらし、その後水気を切っておく。
- ②ささみは筋を取り除き、一口大に切って塩こしょうで下味をつけ、片栗粉を全体にまぶしておく。
- ③熱したフライパンに油を入れ、ささみを炒め、焼き色がついたところでれんこんを加え、フタをして火をとおす。
- ④醤油・砂糖・みりん・酢を合わせ、③に回し入れ炒める。
- ⑤とろみがついたところで白いりごまを入れ、さらに炒める。
- ⑥全体にたれが絡んだらお皿に盛りつけてできあがり。

- 問い合わせ 保健福祉課保健推進係 ☎ 53-3000
管理栄養士 小田 いつみ

具体的な仕事の内容は? / 試験内容は? / それぞれの町村の魅力は?

令和7年
4月採用

十勝18町村合同 町村職員採用試験説明会

参加費
無料

開催日時

3月5日(火)・6日(水) 12:30～16:00(開場 12:00)

会場

とかちプラザ(帯広市西4条南13丁目1)

プログラム

- 1 オリエンテーション
- 2 18町村各ブースでの説明
※町村職員が皆さんの疑問にお答えします。
お気軽にお越しください。

参加申込

右のQRコードで表示される応募フォームに、氏名・年齢・在籍(出身)学校などを入力の上、2月20日(火)までにお申し込みください。



対象者

- 3月5日(火)
高校生・短大生など
▶一般行政、一般技術(土木・建築)
▶資格・免許職(保育士・図書館司書)
 - 3月6日(水)
大学生・社会人
▶一般行政、一般技術(土木・建築)
▶資格・免許職(保健師・保育士・社会福祉士・図書館司書など)
- ※2日間に分けて行いますが、上記の対象日に都合がつかない場合は、どちらの日程でも構いません。
※服装は自由です。

問い合わせ

十勝町村会事務局 ☎ (0155)23-6204

働く方を探している事業所・仕事をお探しの方へ

無料職業紹介所を開設しています

村では、村内事業所への雇用支援のため、仕事をお探しの方と働く方を探している事業所をつなぐ「更別村無料職業紹介所」をふるさと館と役場の2か所で開設しています。お気軽にご相談ください。

■求人者の範囲

村内に事業所を有する企業などで、全業種・全職種。

■求職者の範囲

村内の事業所に勤務を希望する方。

■求人票などの登録期間

無料職業紹介所が取り扱う求人票・求職者の登録期間は、申し込みの日から起算して1年間です。

■個人情報の取り扱い

業務上、求人者や求職者から得られた個人情報、法令や村の条例などにより厳正に管理します。

●問い合わせ

【更別村無料職業紹介所】

・産業課商工労働観光係(ふるさと館内)

・企画政策課地域開発係

☎ 52-2114

☎ 52-2211

<求人情報の掲載は随時募集しています!>

求人募集する村内の企業や事業所の方は、求人票に必要事項を記載し、提出願います。新規事業所の場合は、事業所登録を合わせて実施いたします。お手数ですが担当までご連絡いただきますよう、お願いいたします。
※求人情報は、村ホームページ <https://www.sarabetsu.jp/shigoto/shokugyoushoukai/> より確認することができます。各種様式もダウンロードできますのでご利用ください。





12/27
1/11 お手伝いを体験
子どもボランティア実施

社会福祉協議会主催の冬休み子どもボランティアとして『冬休みこども福祉のおしごと体験』が実施され、碎石をペットボトルに詰める滑り止めセット作りと、カフェゆーゆでの配膳や調理補助体験が行われました。碎石滑り止めセット作りには10名が参加し、2日間で170セットを作成。また、12月27日と1月11日にはカフェゆーゆでそれぞれ4名の子どもたちが体験し、うどんやコーヒーの配膳、盛り付けの補助やレジ補助などを行いました。



12/21 子どもたちの笑顔のために
末広学級がパネル寄贈

更別村末広学級が村総合文化祭に向けて作成した『組み木パネル』を更別幼稚園、認定こども園上更別幼稚園、認定こども園どんぐり保育園へ寄贈しました。21日に篠原英道学級長が3園を周り手渡しし、「皆さんが喜んでくれる顔を思い浮かべながら作りました。仲良く遊んでください」とあいさつ。子どもたちは「ありがとうございます」と元気よくお礼を言いました。各園には壁掛けの組み木パネルのほか、篠原学級長が手作りした組み木パズル5つが寄贈されました。



1/5 地域の安心安全を願い
更別消防団出初式を実施

更別消防団の出初式が更別消防署前などで行われ、団員50名と来賓20名が出席しました。団員は服装・機械器具点検をし、次に更別市街本通りで分列行進を実施、足並みの揃った行進が行われました。その後は、社会福祉センターで表彰伝達式が実施され、北海道消防表彰などが伝達されました。小川誠二団長は「1月1日に発生した能登半島地震では多くの方が犠牲になり、心よりご冥福をお祈りいたします。これからも地域の安心安全を守る消防団を目指したい」と決意を述べました。



1/4 寒さに負けずたくましく
おやこスケート教室開催

年末に完成した村民スケートリンクでは、親子のふれあいと健康の保持・増進を目的に『おやこスケート教室』が開催され23組の親子が参加しました。教室では、村スポーツ推進委員やスケート少年団指導員がレベル別に分かれた子どもたちに「一歩ずつ」、「ゆっくり」と優しく声をかけながら指導、子どもたちは約1時間ほどの時間を楽しく滑りました。閉会式ではスポーツ推進委員長の矢島俊郎さんが「皆さんとても上手になりました。これからも頑張ってください」とメッセージを送りました。



12月19日、更別中央中学校生徒が議会を訪問し、村議会議員8名と意見交換を行いました。中学生は6班に分かれ、事前に作成した資料を使い『道の駅の移転』、『商品開発案グランプリ』、『観光魅力化』、『バイオマス発電』、『新たなイベント』などについてプレゼンテーションし、若い世代が村に訪れる方法や子どもたちが楽しめる方法などを提案しました。議員からは「中学生の視点、素晴らしいものがある。活かしていけたら」との声が聞かれました。

村のわだい
14 days
VILLAGE TOPICS



12/20 クリスマスコンサート
さらべつ音楽祭が開催

更別ミュージックサービス(矢島俊郎会長)主催の『さらべつ音楽祭』が社会福祉センターで4年ぶりに開催。今年は矢島さんと親交のある北海道出身の双子ボーカルユニットでデビュー30周年を迎えたVOICEのクリスマスコンサートとして実施されました。別所秀彦さんと芳彦さんは「久しぶりの更別、5年ぶりに来ることができて嬉しいです。楽しんでください」とあいさつ。「STAY～あなたの声が聞きたい」、「24時間の神話」などをエピソードとともに演奏し、会場は盛り上がりました。



12/13 心を豊かに
人権の花運動に感謝状

「人権の花」運動の今年度対象の更別小学校では帯広人権擁護委員会から取組に対する感謝状が届き、人権擁護委員の及川末雄さんと梶幸子さんから贈呈されました。児童を代表し本間莉央さんが受け取り、三浦慈佳さんが「人権の花運動できれいな花を咲かせることができ嬉しく思いました。これからも思いやりの心を持ち頑張りたいです」とあいさつしました。また、人権の花「絵画展」の表彰も合わせて行われ、入賞した児童に金賞、銀賞、銅賞の賞状が手渡されました。



1/30 能登半島地震災害を支援
村内企業が義援金寄付

株式会社山内組および株式会社ヤマジョウより日本赤十字社更別村分区分区へ義援金の寄付があり、山内組山内正裕専務とヤマジョウ太田雄基専務より分区分長の西山村長に手渡されました。山内専務は「本来であれば現地へ行き災害復旧するところですが、今できることとして義援金の寄付としました」、太田専務は「被災地の力になれることとして義援金の寄付を考えました」とあいさつ、西山村長は「日本赤十字社北海道支部を通じ速やかに適切に被災地へ届けたい」とお礼を述べました。



1/27 練習の成果を発揮
村内スケート大会実施

更別運動広場村民スケートリンクでは、小学校児童や幼児、一般の村民など約160名が参加し、『2023年度更別村小学校及び第48回更別村内スケート大会』が開催されました。午前の部は小学校男子250メートルからスタート、小学2年生男子の部では予選と決勝ともに大会新記録が出るなど子どもたちが頑張る姿がありました。また、午後は幼児の部や一般の部、親子リレーが行われ、一般の部では大会新記録が出るなど盛り上がり、観る人を楽しませました。



1/17 交通死亡事故死ゼロ
2000日を達成

12月17日で交通死亡事故死ゼロ2000日を達成したことから、更別村と更別村生活安全推進協議会に、北海道知事感謝状と北海道交通安全推進委員会表彰状が十勝総合振興局から子育て担当小原部長から、帯広警察署長感謝状が工藤署長から伝達されました。小原部長は「更別村の皆さんのご尽力に感謝」、工藤署長は「更なる事故死ゼロの継続をお願いしたい」とあいさつ。西山村長は「2000日達成は光栄です。今後も身を引き締め頑張っていきたい」と決意を新たにしました。



1/13 日頃からの備えを学ぶ
人材育成事業が開催

今年度第4回目の人材育成事業が、災害リスク評価研究所代表で災害リスクアドバイザーの松島康生さんを講師に『みんなではじめる、明日への備え～災害が少ない更別だからこそ知っておきたい災害リスクと防災対策～』をテーマにサラパークで開催、25名が学びました。松島さんからは「更別は直下型や十勝沖地震が発生した場合の液化化対策が必要に思う。地震で電気、水道、道路などライフラインが被害にあうと生活できなくなるので備蓄用品の備えを」とメッセージを送りました。



全国で実施されているメジャーリーグ大谷翔平選手からの『グローブ寄贈プロジェクト』。更別小学校と上更別小学校にもグローブが届き、1月18日の始業式後に子どもたちに大谷選手の「野球しようぜ」というメッセージとともに披露されました。子どもたちからは「嬉しい」、「待ってました」、「キャッチボールしたい」との声が次々と聞こえてきました。各学校では学校の休み時間などにキャッチボールするなど、楽しむ予定です。



1/26 各組織の現況と取組を確認
村づくり懇談会開催

村社会福祉センターで村づくり懇談会が開催され役場、農協、商工会、森林組合、村議会議員など68名が出席。基調講演では株式会社ファイターズスポーツ&エンターテイメント事業統轄本部地域連携グループ長石川拓道さんから『北海道日本ハムファイターズ～「Sports Community」の実現に向けて』と題し、球団の歴史やエスコンフィールド北海道の現状と今後の姿、また、北海道応援大使プロジェクトなど地域での取組などが話されました。講演後は参加機関が現状と課題を報告、状況を共有しました。



1/25 CSアクションプランを深掘り
どんぐり村子ども会議

今年で4回目のどんぐり村子ども会議が中学校図書室を会場に開催され、更別中央中学校生徒会役員、更別小学校と上更別小学校の児童会役員が参加。中学生が考えたアンケートと各学校の調査結果をもとに、『ネット、スマホ、ゲームとの付き合い方ルール宣言のその後』と『いじめの根絶に向けて』の2つのテーマで各学校の取組を発表し、意見交換を実施しました。取組を知らないや答えた児童生徒もいたことから、全体集会での周知や啓発など、今後の活動方法を確認し合いました。

募集 自衛官の募集のお知らせ 詳しくはお問い合わせください。

募集種目	応募資格	受付期間	試験日
自衛官候補生 (陸上・航空の男女)	18歳以上33歳未満 (32歳の方は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない方)	2月22日(木)まで	2月26日(月)～3月1日(金)のうち指定する日
予備自衛官補	一般	18歳以上34歳未満	4月6日(土)～4月21日(日)のうち指定する日
	技能	18歳以上で国家資格等を有する方(資格等により年齢上限は53歳未満～55歳未満) ※お問い合わせください。	

自衛隊帯広募集案内所
(帯広市西5条南14丁目13 NC サウスビル)
☎23-8718
㊘obihiro.pco.tokachi@rct.gsdf.mod.go.jp

特定最低賃金(4業種)の改定について
北海道最低賃金は令和5年10月1日に時間額960円に改定されましたが、特定最低賃金(4業種)についても12月1日に改定されましたので、お知らせします。
詳しくは、「北海道労働局ホームページ・最低賃金について」を確認ください。

国民年金
国民年金は、20歳以上であれば学生であっても加入することになっています。しかし、学生の方は一般的には所得がないため、所得が一定以下の場合に国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」を申請することができます。
対象となる方は、学校教育法に規定する大学、大学院、

年金相談・手続きは事前予約のご利用を
年金事務所では、年金相談や年金請求手続き相談の事前予約(電話・ネット)を行なっています。待ち時間の少ない予約相談をご利用ください。
なお、ご予約の際は、年金手帳など、基礎年金番号のわかる書類をお手元にご用意し、ご連絡ください。
●予約専用ダイヤル
☎0570-054890
※050から始まる電話または固定電話からかける場合は
☎03-6631-7521へおかけください。
自衛隊帯広年金事務所
☎21-1511
役場住民生活課戸籍窓口係
☎52-2112

自動車税種別割の住所変更を忘れずに
自動車税種別割は、4月1日現在の登録に基づいて課税される税金です。引っ越しで住所が変わったときには、運輸支局で変更手続きをしてください。
次の場合は運輸支局で登録手続きが必要です。
●住所が変わったとき
●変更登録が必要
●自動車を買ったとき
●移転登録が必要
●自動車を使用しなくなったとき
●抹消登録が必要
※令和6年度の自動車税種別割納税通知書を確認にお届けするために、3月中に手続きをお願いします。
※変更登録が間に合わない時は、道税ホームページ「自動車税種別割住所変更手続」から納税通知書の送付先変更をしてください。
北海道自動車税住所変更ご検索ください。
札幌道税事務所自動車税部
☎011-746-1190

北海道・お米・牛乳子育て応援事業 第二弾
北海道は、食料品などの物価高騰の影響を受けている子育て世帯の負担軽減と道産品の消費拡大を図るため、下記の対象児童がいる北海道内の世帯に商品券等を支給します。
<対象児童> 平成17(西暦2005)年4月2日～令和6(西暦2024)年4月1日～にお生まれの子ども
申請方法 第一弾で支給品を受給された世帯の方と受給していない世帯の方で、申請方法が異なります。
第一弾の支給品を受給された世帯 [電子申請] 住所変更のない世帯には、ダイレクトメール(はがき又は封書)をお送りしますので、そちらからお申込みください。注:第一弾申請時から住所、家族構成に変更のある方は、右記に記載の通常申請をお願いします。
第一弾の支給品を受給していない世帯 [通常申請] 電子申請又は 郵送申請 送料がからず、お問い合せや書類の追加提出等がスムーズな電子申請をお勧めします。
商品券(「おこめギフト券」又は「おこめ券」と「牛乳贈答券」) 電子クーポン(北海道産の「米」と「牛乳」が購入可能) 北海道米(ななつぼし)(精米10kg)又は無洗米(10kg)どちらか1つ ※送料含む
お問い合わせ先 北海道お米・牛乳子育て応援事業事務局コールセンター TEL.011-350-7371 受付時間/9:00~17:00
電子申請・スマホも便利

村からのお知らせ

Information from the Village



各種アイコンの説明

📢 = お知らせ 🏠 = 健康・福祉 👤 = 募集 💰 = 税金 📄 = 国民年金

日とき 所場所 対対象 ¥料金
定定員 申申し込み 問問い合せ
☎電話番号 ㊚ファクス ㊘メールアドレス

行政に対するご意見やご要望などを、ハガキ・Eメールなどでお寄せください。
※ハガキは3か月ごとに広報紙へ折り込みしています。

お知らせ
対象動物を飼育している方は定期報告が必要です
牛、馬、めん羊、鶏などの動物を1頭(羽)以上飼育している方は、「家畜伝染病予防法」において、毎年2月1日現在の頭羽数などを知事へ報告することが義務付けられています。報告の方法など詳しくはお問い合わせください。
●報告が必要な動物の種類
牛、水牛、鹿、馬、めん羊、山羊、豚、いのしし、鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥
※愛玩動物として飼われている方も定期報告は必要です。
産業課農業振興係
☎52-2115
北海道十勝家畜保健衛生所
☎59-2021

牛の家畜人工授精に関する講習会を実施します
牛にかかわる家畜人工授精師を養成するための講習会を開催します。
☎5月20日(月)～6月13日(木)までの日曜日を除く22日間・修業試験
6月13日(木)～14日(金) 所 ジェネティクス北海道繁殖

福祉職場説明会のお知らせ
今年度第2回目の福祉職場説明会を開催します。採用予定のある福祉職場の人事担当者と直接話ができる個別相談会を実施しますので、この機会にご参加ください。
☎5月20日(月) 13時00分～15時30分(受付15時まで)
所 とかちプラザ1階(帯広市西4条南13丁目1) 個別相談会

空家等対策の推進に関する法律が改正!
空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律が令和5年12月31日に施行されました。
これにより、特定空家に加えて、管理不全空家も指導・勧告の対象となりました。
空家の対処に困った場合は、早めに空き家のある市区町村の窓口、または不動産・相続などの専門家に相談ください。
●特定空家
そのまま放置すると倒壊等の恐れがある状態の空家
●管理不全空家
窓や壁が破損しているなど、管理が不十分な空家
※村内の空家に関するご相談は、左記までお問い合わせください。
道建設部住宅局建築指導課
☎011-204-5576
企画政策課地域開発係
☎52-2114

技術研修センター
(清水町字御影南2線73番10)
受講資格
牛にかかわる家畜人工授精師の免許を取得しようとする方で、家畜改良増殖法第17条の規定に該当しない方30名以内
定 10万円(修業試験料含む)
受講願書、履歴書などを一般社団法人ジェネティクス北海道理事長宛に提出してください。
提出期限
3月1日(金) 必着
一般社団法人ジェネティクス北海道事業生産部
〒060-0004
札幌市中央区北4条西1丁目1 北農ビル
☎011-242-9644

中学生が活躍しています!!

スピードスケート 全道大会に9名 全国大会に4名出場!

スピードスケートの全道大会に出場する更別中央学校の生徒が12月18日に教育委員会事務局を訪れました。出場するのは木本拓真さん、水口翔介さん、半田萌さん、森田蒼平さん、本多留樹菜さん、太田佳来さん、田村光一朗さん、高久絢未さん、濱口めいさんの9名。

木本さんは「3000mと5000mで自分の万全な状態でスタートラインに立ちたい」、水口さんは「しっかり勝ち上がり全国大会の切符を勝ち取りたい」と意気込みを話してくれました。



後列左から細川教育長、森田さん、木本さん、水口さん、半田さん
前列左から本多さん、濱口さん、高久さん、太田さん



左から細川教育長、森田さん、木本さん、水口さん、半田さん、西山村長
1月24日、全道大会で好成績を収めた4名の生徒が、2月3日から6日にかけて長野県で開催される全国大会の出場報告で役場を訪れました。木本さん、水口さん、半田さんは「大会まであと一週間。滑りに磨きをかけ、最後の大会なので悔いの残らないよう出し切りたい」と意気込みを述べました。西山村長と細川教育長は「全国大会への出場おめでとうございます。小さな頃から努力してきた成果を出すときです。体調を崩さないよう、練習の成果を発揮して頑張ってください」と激励しました。

ALT通信

このコーナーは、ALT (外国語指導助手) の Joy Beatrice Jacobs (ジョイ) さんによるワンポイント英会話や異文化紹介などの情報交流の場です。

Let's Enjoy! English!

◆今月号は、ジョイさんが初めて体験した日本の冬についての思いをお聞きました!

Experiencing winter in Sarabetsu:

My first Japanese winter has been very mesmerizing. Sarabetsu Village is very beautiful and the snow gives the village a different type of beauty. I am accustomed to coastal cold weather but not to snow or temperatures below 0. While it took about 2 weeks for me to acclimatise to this type of cold weather, the low humidity has been a bit of a challenge. Because I have never driven in snow or with winter tyres (we do not change tyres in winter in SA) I was extremely nervous to drive and decided to walk to school when the first snow fell. I needed to understand how other drivers navigate the snowy roads and learn from that and walking in the snow was also new to me and a good lesson on how to navigate the snow and ice. I am not good at balancing on any skate shoe and I can be clumsy at times so I have not attempted the ice rink as I don't want to be any trouble for anyone else or break the ice.

「更別の冬を体験しての感想」

私の初めての日本の冬はとても魅力的でした。更別村はとても美しく、雪が村に違った美しさを与えていると思います。私は海岸沿いの寒さには慣れていますが、雪や0度以下の気温には慣れていません。このような寒さに慣れるのに2週間ほどかかりましたが、湿度の低さには少々苦労しました。雪の中や冬用タイヤ(南アフリカでは冬でもタイヤ交換はしない)で運転したことがなかったため、運転するのに非常に緊張し、最初の雪が降ったときは歩いて学校に行くことにしました。他のドライバーが雪道をどのように運転しているのかを理解し、そこから学ぶ必要がありましたし、雪の中を歩くのも初めての経験で、雪や氷の上をどのように運転すればいいのかわからず、いい勉強になりました。私はスケート靴の上でバランスをとるのが苦手で、不器用なところがあるので、他の人に迷惑をかけたか、氷を割ったりしたくないので、スケートリンクには挑戦していません。

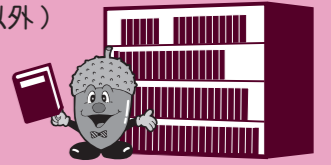
更別のスケートリンクと子どもたちが器用に滑る姿に感動しました。



更別村農村環境改善センター図書室だより

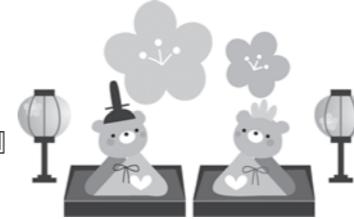
本ごよみ

開館時間 9時30分～18時00分
休館日 火曜日および祝日(日・月・土以外)
住所 更別村字更別南2線96番地11
農村環境改善センター内
電話 52-3171



今月の展示

- 一般書コーナー
『チョコレートの本』
- 児童書コーナー
『おひなさまのえほん』



今月の読みきかせ

2月17日(土) 11時00分～11時30分

- 『The Dream』
(英語で読みきかせをします)
- 『ライフタイム』



ジョイさんの読みきかせ

ALT (外国語指導助手) ジョイさんによる英語の絵本の読み聞かせを図書室で開催します。

- 期間 2月16日(金) 15時30分～



新着図書案内

えほん



今月のおすすめ本

『がんばらなかつた 逆偉人伝 日本史編』
加来 耕三 / 著
がんばらなかつたことで有名となった日本史の人物を紹介する一冊。

- ぎょうざがいなくなつた (玉田美知子)
- さかしていただきます (たのひろし)
- マニア! (まるはま)
- あげる(はらへこめがね)
- 20ぴきのあいしいあき(たしろちかこ)
- 空のよう (バラード)
- あなたのこころは (ブロンウエン)
- ピースケのいえで(たかどのほうこ)
- パンやさん (町田 尚子)
- どすこいみいちゃん (野田 尚子)
- おもちゃべつたん (おいかわゆかり)
- よるよ (ロジヤジロ)

児童文学・学習書ほか

文学・一般書

- センニンじいさん しゅぎょうちゆう! (横田 明子)
- ふしぎだらけのウナギ (黒木 真理)
- なんたろう? (中野 明正)
- 根っこって (神永 暁)
- 日本のことばずかん (神永 暁)
- 美人画で味わう江戸の浮世絵おしゃれ図鑑 (赤木 美智)
- わかる料理教室 (平野 レミ)
- 認知症大全 (齊藤 直子)
- 母性の科学 (アベグイル・タッカー)
- 英語が楽しくなる (チャールズM・シユルツ)
- 60歳からの滑舌レッスン (赤間 裕子)
- 素林な疑問 VS 東大 (東京大学 広報室)
- 天災ものがたり (門井 慶喜)
- ふしだら・さくら (瀬戸内 寂聴)
- モンスターを書く (フィリップ・アサンズ)
- ハジケテマザレ (金原 ひとみ)
- 最愛の (上田 岳弘)
- 夢の叶え方は (岡嶋 かな多)
- ひとつじやない (ひつじやない)

総合文化部写真班の3年間は振り返って
3年

私は、更別農業高校に入学した当初より文化系の部活に入ろうと考えていました。もともと写真を撮ってみたいと思ったことに加えて、入学直後の部活動紹介で一番楽しそうな雰囲気を感じ、動物園に行つて撮影会を行うことを知り、「動物園に行つてみたい！」と心が動いて入部しました。

入部してからはいろいろなことがありましたが、あつという間の3年間でした。春と秋の写真展に向けて作品を作り出すのですが、今年は1年生で春と秋の大会ともに入賞し、全道大会にも出品できたことはとても素晴らしいと感じました。また、自分が初めて入賞したときはとても嬉しかったです。特に、3年生最後の秋季写真展では3年生全員が入賞出来たのはとても良い思い出になりました。

最後に、後輩に向けてですが、写真はちよつと工夫するだけでも良くなります。少し意識して写真を撮つてみましょう。あと、一番大切なのは、楽しく活動しよう！という気持ちです。これからの活躍を期待しています。



更別農業高校ニュース

感謝状を贈呈 更農ひまわり迷路 トラクター作業と見晴台設置



左から三菱マヒンドラ農機前田アドバイザー、山内組山内専務、上野生徒会長、一宮農業クラブ副会長

12月21日、更別農業高等学校では、農業学習講演会が開催され、青年新規就農者確保対策事業とひまわり迷路の振り返り学習会が行われました。振り返り学習会では、三菱マヒンドラ農機前田篤志氏の講演のあと、ひまわり迷路事業にご協力いただいた2社（三菱マヒンドラ農機株式会社・株式会社山内組）へ感謝状が贈呈されました。感謝状を受け取った山内組専務の山内正裕さんは「更別農業高等学校のひまわり迷路、村民として村のPRにつながっていると感じ嬉しく思います。山内組もできる限り協力します」とあいさつしました。

更別農業高等学校生が結果を報告 日本学校農業クラブ 全国大会



左から細川教育長、平さん、早坂さん、増地さん、西山村長

12月20日、更別農業高等学校の早坂咲優香さん、平菜々美さん、増地早佳江さんが役場を訪れ、10月25日に熊本県で開催された日本学校農業クラブ全国大会の結果を西山村長と細川教育長へ報告しました。農業鑑定競技「生活」の部へ3年連続出場した早坂さんは「最優秀賞は獲れませんでした。3年間の中で一番点数が獲れたので悔いはありません」と笑顔で報告し、西山村長と細川教育長は「これまでの努力が身を結びとても素晴らしい結果です。3年生はこの努力を次の進路に生かし、1年生は先輩を目標に頑張つて」とたたえました。

再農の
わだい



今年は十勝エリアが
対象です



FIGHTERS

© H.N.F.

北海道日本ハムファイターズ 北海道応援大使プロジェクト が始まりました

北海道日本ハムファイターズでは2023年から新たに「北海道応援大使プロジェクト」として10年間に渡る事業を展開することとなり、2024年1月から12月は十勝総合振興局管内19市町村を対象に「北海道応援大使プロジェクト」が展開されています！各市町村の学校訪問や、十勝管内でのトークショー開催も予定していますので、お楽しみに！今月号では12月と1月に実施された取組をご紹介します。

ファイターズ選手 直筆サイン入りユニフォーム寄贈

「北海道応援大使プロジェクト」では十勝管内各市町村に直筆サイン入りユニフォームが寄贈されています。本村には、12月中旬に球団から「万波中正選手の直筆サイン入りユニフォーム」が記念品として寄贈されました。1月4日（木）より役場1階村民ホールに展示しています。※なお、今後、展示場所が変更する場合は、村ホームページなどでお知らせいたします。



ファイターズ伊藤選手と清宮選手 より二十歳を祝う会にメッセージ！

1月7日（日）開催の更別村二十歳を祝う会には伊藤大海選手と清宮幸太郎選手からののお祝いメッセージが届きました。



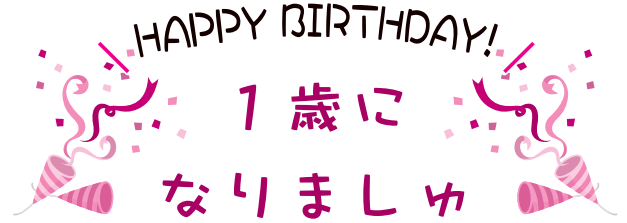
<展示中>
平日
8:30 ~ 17:15
役場1階
村民ホール



●問い合わせ
企画政策課地域開発係 ☎ 52-2114

戸籍の窓口

誕生おめでとう



お悔み申し上げます

地域安全ニュース

■更別村の交通死亡事故死ゼロ記録

2,045日(1月31日現在)

■地域安全運動のお知らせ

『詐欺被害にあわないように注意!』

詐欺の犯人は、市役所や役場の職員を名乗り、「還付金の書類を郵送したのですが確認しましたか」や「今日このまま手続きすれば間に合います」、「ATMに着いたら折り返し電話をしてください」などと言ってお金をだまし取ります。「還付金」、「ATM」のキーワードが出たら詐欺です!すぐに電話を切って、警察相談ダイヤル# 9110に相談してください。

ぱ・ち・り

上更別小学校ではPTAの施設部を中心に保護者と教職員が造成作業をしたスケートリンクが完成し、管内の先頭を切つてリンク開きが行われました。リンク開きではPTA会長の村上幸一さんが「お父さんたちと先生方で頑張つて作りました。今年が良いできだと思えます。楽しく滑つてください」とあいさつ。児童を代表して高橋悠朔さんが「毎日遅くまでありがとうございます。練習を頑張ります」とお礼を述べました。リンク開きの後、児童22人は準備運動をし、寒さに負けず、元気にスケートを滑りました。



SPORTS

1/28

行政区対抗 フットサル大会

- 優勝 役場サッカー部
- 2位 勢雄区
- 3位 更別中央中学校
- 得点王 浅野 虎太郎さん



人の動き

2024年1月1日現在

※()内の数字は前月比



総人口
3,129人
(-1人)



男性
1,535人
(+3人)



女性
1,594人
(-4人)



世帯数
1,369世帯
(-3世帯)

